



令和3年(2021年)第28週 2021年7月12日(月)~2021年7月18日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



★手足口病が5週連続で警報レベルを超えています!!★

乳幼児では原因ウイルスに感染したことがない子どもの割合が高いため、感染した子どもの多くが発病します。予防法としては手洗いが基本です。症状が消失した後も2~4週間にわたり便中にウイルスが排泄されるため、感染した人やお世話をした人は排便後の手洗いが重要です。



QRコード厚生労働省手足口病Q&A

夏に流行する感染症には、現在流行中の手足口病や、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎(はやり目)などがあります。これらは、特に5歳までの子どもがかかることが多く、感染力の強い感染症です。

夏に流行する感染症の感染経路は

患者の咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染、鼻水、水疱、便、目やにや涙の中に含まれるウイルスが、直接または、ドアノブや手すり、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などを介して口や鼻の中に運ばれることによる接触感染、糞口感染などがあります。

症状がなくなったあとも2~4週間以上にわたってウイルスが排出されるものが多いといわれています。咽頭結膜熱(プール熱)・流行性角結膜炎(はやり目)は、プールでも感染しますが、近年は塩素濃度の徹底管理等によりプールでの感染は稀と考えられています。

予防するには

- 流水と石鹸によるこまめな手洗いを習慣づけましょう。手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防方法です。
 - 普段からトイレの後、おむつ交換の後、鼻水をとった後などに、しっかり手を洗いましょう。
 - 子どもが理解できる範囲で咳エチケット※を心掛けましょう。
- ※咳が出るときはマスクをつける、人に向けて咳やくしゃみをしない、咳やくしゃみの時はティッシュなどで口や鼻をおさえるなど。
- タオルの共用を避けましょう。プール前後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

★5歳以上のお子さんや大人の人も感染することがあるので注意してね
★別紙の表もみてね



期 間		2021年 27週		2021年 28週	
		7/5~7/11		7/12~7/18(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	→	8	0.50	7	0.44
咽頭結膜熱(プール熱)	→	4	0.25	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	6	0.38	12	0.75
感染性胃腸炎	注意 →	30	1.88	30	1.88
水痘(みずぼうそう)	→	1	0.06	0	0.00
手足口病	警報レベル!! ↑	87	5.44	145	9.06
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	→	13	0.81	15	0.94
ヘルパンギーナ	→	1	0.06	3	0.19
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	3	0.60	8	1.60
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00